

10月10日 【陸上競技部】中国新人大会 円盤投げで第3位

10月6日(金)・7日(土)広島市の広島総合グラウンド陸上競技場で第32回中国高校新人陸上競技対校選手権大会が開催されました。
本校2年生徳本耀星くんが円盤投げとハンマー投げに出場し、円盤投げで見事第3位入賞を果たしました。



11月27日 女子バレー春高県予選の優勝と吉林省訪問の報告に町長を表敬訪問！



11月12日に行われた春の高校バレー県予選決勝戦で優勝した女子バレー部5名と、11月18日～23日に中国吉林省を訪問した8名が、長戸町長を表敬訪問しました。
はじめに町長が吉林省訪問の8名にむけて、「実際に外国へ行き異文化を理解することは人生の豊かな経験となります。この経験を大切に、将来に活かしてください。」とエールを送りました。女子バレー部に向けては「無敵の岩美！みなさんの優勝は町民にとっても本当に喜ばしく誇りです。岩美町のみんなが活躍を応援しています。」と挨拶をされました。

女子バレー部を代表し永田さんは試合を振り返り、「王者としてのプレッシャーがありました。チームが団結して優勝できた。1月の全国大会ではベスト8をねらいます。」と意気込みを語りました。
吉林省を訪問した8名はそれぞれが「中国の学生と交流できたのが楽しかった。しゃぶしゃぶがとても美味しかった。」「博物館で中国の文化や歴史、科学について鑑賞できて勉強になった。」「日本の常識が中国ではそうでないこともあると知り、文化の違いの勉強になった。」などといった感想を報告しました。



10月30日 後期生徒会長立候補者による「立会演説会」

本日、後期生徒会長立候補者の立会演説会を行いました。今回立候補したのは、2年生の内田君1名です。



立会演説会では、2年1組の藤原君が立候補者内田君の応援演説を熱く語りました。

内田君も、「より楽しく、過ごしやすい学校環境を実現するため、生徒の声を受け入れ、実行に移せるアイデアを採用していきたい。」と強調しました。演説会の後、生徒たちは各教室にもどり、投票を行いました。開票の結果、令和5年度岩美高校後期生徒会会長に、内田君が選ばれました。

11月16日 令和5年度 後期生徒総会

令和5年度後期生徒総会が行われました。議長は、3年生の河口くんと星見くんが務めました。
<生徒総会の内容>

- 【1】令和5年度(2023年)前期行事および活動報告
- 【2】虹嶺祭 アンケート結果について
- 【3】令和5年度(2023年)前期執行部員 解任
- 【4】令和5年度(2023年)後期執行部員 紹介と承認
- 【5】令和5年度(2023年)後期行事および活動計画と承認
- 【6】閉会

その後、令和5年度(2023年)前期執行部員解任、後期執行部員の紹介と承認が行われました。後期の執行部員ひとりひとりの紹介をした後、令和5年度(2023年)後期行事および活動計画の提案を、後期生徒会長の内田くんが発表し、承認されました。



鳥取県立 岩美高等学校

瓦版

TSUREDURE

岩美高校の日常

～令和5年10・11月～

第3号

岩美高校
ウェブサイト



学校ウェブサイトへアクセスすると更に詳しい情報をご覧いただけます。



Day01 虹嶺祭が本日スタート！ 10月19日 3日間の学校祭が幕を開けました。

本日から始まりました「虹嶺祭」
一日目は、3年生の模擬店が中庭で賑やかに営業し、1・2年生は各教室で個性豊かな展示を披露しました。中庭ではステージイベントも盛りだくさん行われました。
3年生の模擬店では、1組がシャカシャカポテトとワッフル、2組がやきとり丼を提供し、3組はハート？ちゅわちゅわソーダとタピオカミルクティーのドリンクを販売。朝から大盛況で、生徒たちは忙しく接客に追われました。
1・2年生の教室展示は、どのクラスも個性豊か！生徒たちの熱意がこもった催しで訪れる生徒や先生たちを楽しませていました。中庭の昇降口に設置されたステージでは、じゃんけん大会、激辛ペヤング早食い大会、コーラ早飲み・ラムネ早飲み大会、イントロクイズ、そしてカラオケなどの多彩なイベントが繰り広げられました。

Day02 虹嶺祭2日目！ 10月20日 ステージパフォーマンス。

本日は、学校祭2日目。いよいよ体育館でのステージ発表当日です。全クラスがこの日にむけて取り組んだ練習の成果を披露する日です。
ステージは、吹奏楽部「Blue Martin Jazz Orchestra」のコンサートで幕を開けました。
そして、クラスパフォーマンスに移りました。1年生から順番にダンスや歌、演劇がステージ上で繰り広げられました。



Day03 虹嶺祭3日目！ 10月23日 晴天の下、体育祭が大成功！



総合優勝
1年2組

本日は、最終日。虹嶺祭を締めくくるのは体育祭です。晴天にも恵まれ、平日にもかかわらず、来賓や保護者の方がたくさん応援にきてくださり、大盛り上がりの日となりました。
開会式では、3年1組の永田さんと八木さんが代表し選手宣誓を行い、今日一日の健闘を誓いました。午前と午後で11種目の競技が行われ、クラスごとに得点を競いました。
スローガンの「ワン・ユニティ」が形となって現われたとても思い出に残る素晴らしい学校祭でした。

地域とつながる授業や活動

10月30日

岩美まちづくりの会の方々と花壇の植栽！ ～3年生 農業と環境～

今年も、岩美高の3年生が「農業と環境」授業の一環として、岩美まちづくりの会の方と協力し、岩美消防署横の花壇に花の苗を植えました。この花壇は、岩美高の先輩がイワツツミッションで創り上げ、その後、岩美まちづくりの会の方々と協力しながら、後輩たちが伝統を守り続けているものです。

そして、今年で約8年目を迎える花壇に、生徒たちは心を込めて植栽を行いました。

岩美まちづくりの会の方からは、「今年の3年生は手際がよく、積極的に動いてくれたので、予定の時間よりかなり余裕をもって作業が完了しました。ありがとうございました。」とお褒めの声をいただきました。



チューリップをメインに植栽をしました。まちづくりの会の方がとても丁寧にわかりやすく指導をしてくださったので、楽しく作業ができました。チューリップが咲くころにまた見に来たいです。

本日の活動についてコメントをくれた
平井さんと福間さん



地域の方と一緒にあって、花を植えるという機会があまりないので、すごく新鮮な気持ちで取り組みました。



10月6日 3年1組「実践現代社会」の授業で荒金鉱山を見学！

本日、3年1組5限目の「実践現代社会」の授業で、地域理解講座 第6回目として、生徒たちが地元の歴史について理解を深めました。訪れたのは、岩美町荒金にある旧岩美鉱山、通称荒金鉱山。

生徒たちは事前の授業で、鉱山の歴史などの背景についてはバッチリ学習済み。現地を訪れて今も佇む空気感に触れ、歴史の深さを感じました。

迎えて下さったのは、岩美町鉱害防止協会の大西さん。

当時の鉱山の様子や労働者やその家族の生活の様子、鳥取地震の被害の様子などについても詳しく案内してくださりました。そして、いよいよ入り口から200m程のコンクリートで舗装された坑内に！

外の温度は25℃近くでしたが、坑内の中はひんやりして肌寒いほどでした。

始めは立って進めていましたが、途中から中腰にならないといけなく天井は低くなってきました。

奥まで進むと当時のままのこされた鉱山のスポットに到着！通ってきた通路の何倍もの長さのある穴が他にも2本掘られているという話をきき、かつては、日本でも有数の銅山として栄えたその規模の大きさを改めて実感できました。帰りには、地震でなくなった方々の慰霊碑にもお参りし学校へ。1時間ほどの現地見学でしたが、とても充実した時間となりました。

11月9日 人権教育公開 LHR

本日のLHRは、人権教育について。公開授業となった本日のLHRは、複数の保護者の方々も見学にいらっしゃいました。

学年ごとにテーマを設定して、各クラスが様々な問題について話し合いました。

- 1年生のテーマは「いろんな価値観」
 - 2年生のテーマは「身近な差別」
 - 3年生のテーマは「差別解消への取り組み」
- 生徒たちは、話し合いや意見をワークシートに落とし込み、授業を通して差別に対する正しい理解や良好な人間関係への配慮などを学びました。



11月2日 人権教育講演会～部落問題を考える～

本日6限目のLHRは、講師に鳥取市人権情報センターの衣笠さんを迎えて、人権教育講演会を行いました。

「部落問題を考える」をテーマに、差別の構造や社会にある差別と自分との関わりについて、お話をいただきました。

一人一人が、社会に差別が依然として存在することを認識することが重要で、差別のない社会を築くためには、身近な関係性の中で差別を排除し、その小さな関係性や輪を拡大し、この問題に対して積極的に考えることが求められています。とお話しされました。

会の終わりに、生徒会長の内田君が「部落差別やその他の差別について、知らないことが多くあったことに気づきました。今日学んだことをしっかりと考えて、私たちができることを取り組みたいと思います。」と謝辞を述べました。



11月16日

自己理解・他者理解のための講演会開催



本日のLHRの時間は、講師に一般社団法人 株式会社Psychoro(サイコロ)の谷口さんに、「充実した生活に向けたメンタルヘルスのお話：みんなの"ガッツ"をうまく活かすために」をテーマに講演をいただきました。

講演で谷口さんは、3つのストレス対処法を紹介され、これらの対処法をバランスよく取り入れ、不安(ストレス)を理解し、自信に変え向き合っていくことが重要であると述べられました。

講演を聞いた後、生徒会長の内田君が「いきなり大きな目標を立てるのではなく、出来ることから無理なく始めていくことも大切だと理解しました。今日教わったストレスの対処法を生活に活かしていきたい。」と感想と謝辞を述べました。

10月26日

性に関する教育講演会 が1年生を対象に行われました。

講師に助産師の大江さん、本家さん、平井さんをお招きして、「3つの命を守る～私の命・あなたの命・そして・・・～」と題し、性に関する教育講演会が1年生を対象に行われました。講演は性感染症の感染経路や予防策、感染時の適切な相談先から、予期しない妊娠や避妊方法に至るまで、幅広いトピックにわたりました。ホワイトボードに次から次と重要なキーワードを表示されとてもわかりやすく、生徒達は興味深く聴き入っていました。



11月22日 秋の遠足～城崎で楽しい一日～

本日は、秋の遠足！目的地は、1、2年生が城崎マリンワールド、3年生が城崎温泉街です。

ジオパーク学習の一環として2つの大きな目的もありました。

1つは、但馬地域のジオパークスポットに親しみ、楽しむこと。

2つ目は、JR 山陰本線の利用です。移動手段は、貸し切りバスと鉄道。

山陰ジオパークの海岸線を移動する際、窓から見える景色を観察することで、新しい発見に繋がります。

天候もよく、とても美しい景色を眺めながら目的地を目指しました。

城崎マリンワールドでは、イルカ・アシカショーなどのアトラクションやあじつりなどを楽しみました。普段みることのない海洋動物たちとの触れ合いと、仲間との楽しいひと時を満喫していました。



3年生は、城崎温泉街を散策。3年生は、三浦教頭からのもう一つのミッションがありました。

それは、遠足の前に授業で読んだ「城の崎にて」の舞台をたどって写真を撮る！

生徒たちは物語を想像し、街のスポットを撮影しました。

温泉街は活気があり、ユニークなみやげ物屋やおしゃれな飲食店もあり、レトロな雰囲気と現代の洗練されたデザインが調和する素敵な街並みを堪能していました。風情あるスポットで記念写真をとったり、足湯を体験したり様々な過ごし方で楽しいひと時を過ごしていました。



11月24日 【生徒8名が吉林省訪問】現地での国際交流が実現！！

11月18日（土）から23日（木）の5泊6日の日程で、岩美高生8名と三好教頭が、鳥取県青少年国際交流事業の一環で、交流推進課の方々と一緒に中国吉林省を訪問しました。



参加した生徒8名は、1年生から中村さん、2年生から内田君、梁崎君、谷口君、植田君、市園さん、張さん、奥村さんです。

一日目は、吉林省人民对外友好協会主催 東北アジア金融センター聚融ホテルでの歓迎夕食会に参加し、本場の料理を堪能しました。

二日目は午前中、吉林省東北虎園(パンダ館)を見学しました。午後からは、吉林省博物館、長春中国光学科学技術館、吉林省科学技術館を見学し知識を広げました。

三日目の午前中は、偽満皇宮博物院を見学しました。中国の様式と西洋の様式が融合した素敵な建物で、多くの歴史的、文化的資料が展示されていました。午後は、長春外国語学校を訪問し、日本語学科の学生と交流をしました。

四日目は午前中に、吉林市隕石博物館見学した後、午後は、東北電力大学日本語学科の学生との交流をしました。交流では、芸術学部の衣装パフォーマンス授業を見学しました。

五日目は、早起きをして「樹木景観鑑賞」に向かいました。吉林省は鳥取よりも気温が低く寒さ対策をして出かけました。その後、長春茶密学堂に移動し、茶燻、水墨画などの中国の伝統文化を体験。午後は、「ここに山がある」も見学しました。そして帰国の前の日に、送別の夕食会に参加しました。

あっという間の5泊6日の旅でしたが、交流や視察を通じて実りのある経験を積み、成長できた5日間だったようです。



10月26日 岩美高生のアイデアを取り入れた岩美町 PR 看板に！～岩美道路 東浜 IC に設置の看板デザイン意見交換会～

今年（令和5年）3月12日（日）に開通した「岩美道路（浦富IC～東浜IC間）」の東浜ICに設置する岩美町の看板デザインについて、本日、岩美高の生徒と岩美町役場商工観光課の方、鳥取市の看板業者の方が意見交換会をおこないました。

「ジオパーク世界認定はもっとアピールしてもいいと思う。」
「のんびり、ゆったりはありきたり！もっと興味をそそるキャッチフレーズに変えた方がいい！」「岩美町の方言をつかうのも面白い。」
「小さい子どもでも読めるような配慮もあっていい。子どもが行きたいといえば、親は立ち寄りと思う。」など、大人では考えつかないアイデアが止めどなく出てきました。

自分たちの通う学校のある岩美町に誇りを持ち、より多くの人に来てもらいたいという生徒の熱い思いが言葉になってあらわれていると感じる、よい意見交換会となりました。



11月4日

大盛況★いわみフレッシュフェスティバルで岩美高校生が活躍！

本日、いわみフレッシュフェスティバルが、岩美町中央公民館で行われました。

このフェスティバルの岩美町商工会ブースで、岩美高校生と香住高校のコラボ商品「ばばちゃん缶詰」が販売され、その販売のお手伝いに1、2年生の中から6名が参加しました。



生徒たちは、来場されるお客様に「ばばちゃん缶詰」の試食とアンケートのお願い、そして販売を担当し、笑顔でお客様に商品を案内し、地域の皆さんと交流しました。

「ばばちゃん缶詰」の味は3種類。しょう油味、みそ味、なべ味。生徒たちの積極的な商品PRと地域の方々の応援もあり、100個用意した缶詰は、わずか2時間程度で完売。

完売の際、「ばばちゃん缶詰完売しました。ありがとうございました。」と生徒たちがお礼を言うと、会場からは拍手が巻き起こっていました。



また、フェスティバルを盛り上げた、かわいらしい「ゆるキャラ」。トリピーといわみには、ウエイトリフティング部の1年生、安次富くん、榊井くん、2年山本くんが交代で入り登場しました。2つの「ゆるキャラ」は大人気で、小さな子どもたちだけでなく、大人の方々も写真撮影を楽しんでいました。

地元のフェスティバルは、生徒たちにとって新たな経験と地域の方々との交流の場ともなり、大成功の一日でした。



ばばちゃん缶詰の販売を担当してくれた山内くんと尾崎くん

物を売ることは大変だと実感しました。売れ行きが悪くなったときは、しっかり声をだしてお客様に来てもらえるようにがんばりました。



ゆるキャラ担当 山本くん

完売すると思っていなかったもので、完売できて嬉しかった。来場した方に試食を進めるなど工夫して声かけしました。



着ぐるみの中は暑く視界も狭かったので、バランスをとるのが大変だった。子どもたちが周りで楽しそうにしてくれていたのが嬉しかった。

11月7日 プロに学ぶ食の流儀～辻調理専門学校から先生を迎えて調理実習～

本日は、日本の調理専門学校の中で一番の人気を誇る「辻調理専門学校」から、講師に柳さん、針本さんをお迎えして、3年3組のフード類型5名と、2年3組20名が調理実習を行いました。



午前中、3年3組「栄養と食文化」の授業で5名に指導して下さったのは、辻調理専門学校で西洋料理を教えておられる榊さん。なんと、5つのメニューを教えてくださいました。メインは、牛サーロインのステーキソース・ベアルネーズ(フォフィレドブソテソースベアルネーズ-)、こねるパンとこねないパン、副菜は、きのこソテとじゃがいもグラタン。デザートにガトー・ショコラコアンドル風。

生から焼く肉と、あらかじめ低温調理されたミディアム肉、肉の違いに加え、焼き方の違いによっても、味が変化することを学びました。生徒からは、「なぜ、料理人になったのか」「お店を開くにはどうしたらいいか」などという質問があり、榊さんは、ご自身の経験をもとに力強くお話しされました。

午後からの2年3組「フードデザイン」の授業を指導して下さったのは、辻調理専門学校で製菓を教えておられる針本さん。「タルト・モンブラン」を教わります。

栗のペーストを混ぜる際の注意点や、絞り袋から生クリーム、マロンクリームを絞りだすときのコツなども細かく指導いただきました。

生徒たちは、チョコレートやジャムなどで、プレートにイラストや名前などを書き、自分のために作るモンブランを苦戦しながらも楽しみつつ作っていました。



本日の実習は、プロの調理のプロセスを実際に体験し、その技術を実感する絶好の機会となりました。

10月27日 "食べる"ことは、自分を"つくる"こと。調理実習～栄養と食文化 3年3組～



本日の3年3組の「栄養と食文化」の授業で、講師に岩美町役場健康福祉課 栄養士の乾さんと、岩美町の食生活改善推進委員の土井さん、橋本さんにお越しいただき、「"食べる"ことは自分を"つくる"こと。」をテーマに調理実習を行いました。

本日のメニューは、主菜2種類、お味噌汁、デザート、そして白米の計5種類。主菜の「ポークジンジャー」と「豚肉と細切りベーコンの炒め物」は、油を使わずに電子レンジで作りました。

生徒たちは、野菜や豚肉の切り方もかなり手慣れており、見た目にも美味しそうな献立を完成させました。そして、「日々の食事が、自分を作る」ということを心に刻みながら、手作りの食事を楽しんでいました。

10月6日 県教育委員会によるALT参観！



ジャックさんの授業では、スライドを効果的に活用しているのが印象的でした。スライドショーには、楽しく印象に残る写真や映像が使われており、生徒が楽しみながら答えにたどり着ける工夫が施されていました。

何よりも注目すべきは、ジャックさんと生徒たちとのコミュニケーションの活発さ。授業中に生徒から質問が次々と飛び出し、ジャックさんはその都度丁寧に答えていました。

生徒たちのリアクションも非常に良く、授業が楽しく有意義なものとなりました。



11月7日 県内外の中学に向けて、学校説明会開催

鳥取県内東部の中学から進路指導の先生方にご参加いただき、和やかな雰囲気ですべての学校説明会が開催されました。

鳥取県内外の21の中学から3年生担当の先生や進路指導担当の先生方にご参加いただき、和やかなムードで会が進みました。

学校説明会では、辻中校長がプレゼンスライドを使い、特色ある岩美高校の授業や取り組みを紹介しました。

手話の授業や調理実習、介護福祉、そして山陰海岸ジオパークが近くにあるという立地を生かした学習環境の中で、生徒たちは自信と自己有用感を養い、日々成長をしていると語りました。

続いて、三好教頭からは岩美高校の進路指導と生活指導について、詳細な説明がありました。

最近の進学状況や、岩美高校での授業と生活指導を通して驚くべき成長を遂げた生徒たちの事例も紹介し、学校の熱心なサポートがどれほど有益であるかを示しました。

最後に、中学ごとに個別の面談が行われ、質問や疑問を解消し、より詳細な情報を得る機会を持ちました。



11月20日 秋の避難訓練と後期 TEAS 研修会



本日は、職員室からの出火を想定した避難訓練を行いました。火災を告げる放送から、点呼が終わるまで、3分44秒。押さず、慌てず、しゃべらず、速やかに"オアシス"を守って避難できていました。

その後、後期TEAS研修会を実施しました！！司会進行は、管理環境委員長の岩谷くんと副委員長の山根さん。岩美高校の「環境宣言」の基本理念を説明し、改めて環境学習・環境配慮推進の意味を伝えました。研修会は環境への理解を深め、実践的な活動への参加を奨励する素晴らしい機会となりました。



3年3組

介護福祉実習

11月7日

介護福祉実習～第3回～オムツ交換と清拭～

3年3組 福祉類型の介護福祉実習 全7回のうち、今回は第3回目！本日のテーマは「オムツ交換と清拭」です。講師は、岩美町社会福祉協議会 前田さんです。

第2回目では、「衣類の着脱」を学習し、その際にもおこなう「清拭」や「オムツ交換」。体を拭く時、心臓に向かって肌にダメージを与えないよう優しく行うなどといったポイントや特に注意すべき体の部位など細かく指導いただきました。

さらに、オムツ交換では、オムツがどれくらいの水を吸うことができるのか、水をオムツに注ぎ実験。想像以上の吸収力に生徒たちは驚いていました。

福祉類型の介護福祉実習は、介護の分野での重要な技術を習得し、将来のキャリアに備える生徒たちにとって有意義な授業となっています。



11月14日 介護福祉実習～第5回～手浴・足浴・洗髪～

本日のテーマは「手浴・足浴・洗髪」。難易度が一段と上がりました。入浴が難しい方のために自宅でする部分浴の学習では、身の回りにあるアイテムを工夫して使います。



洗髪をするためのケリーパッドも、新聞紙、バスタオル、ビニール袋を使用して手作りました。

生徒は、利用者役や介護者役になり、より良い介護環境や利用者との信頼を築くため、声かけや会話にも意識しながら実習を行い理解を深めていました。介護福祉の授業では今後も、さまざまなテーマでの実習が予定されています。

10月24日 高齢者の疑似体験と車いす介助を学習！～3年3組 福祉実習～

本日の実習テーマは「バイタルサイン」「高齢者体験」「車いすの介助」。日々の健康状態を知る大切な測定である「バイタルサイン」について前田さんから説明を聞いた後、実際に「脈拍」「呼吸」「体温」「血圧」の4つを測定。

次に、場所を移動し「高齢者体験」。視界が悪い高齢者の体験には、専用のゴーグルを使い、膝の曲げ伸ばしや、半身が不自由な体験をするために、専用のサポーターやウエイトを装着し介助役とペアで校内を歩きました。

階段の上り下りや、でこぼこ道など、介助役が優しく声をかけながら行いました。

最後に「車いすの介助」。高齢者の心身の不自由さや、車いすの介助を安全に行うための心得をしっかり体験できたようです。



10月25日 韓国の国際交流員さんを迎えて韓国の理解を深める。～3年1組 実践現代社会～

本日の3年1組の実践現代社会の授業は、鳥取市から韓国の国際交流員 李在漢(イ・ジェハン)さんを迎えて、「韓国について理解を深めよう」をテーマに講演会を行いました。

まずは、生徒から一人ずつ自己紹介。日本語だけでなく知っている韓国語を使い、積極的に発言し交流の意欲を示していました。

続いて、李さんの自己紹介では、韓国の人口や面積、通貨といった基本情報から人気の観光地などをスライドを使って紹介していただきました。「韓国クイズ」や「韓国語の挨拶レッスン」もあり、生徒たちは楽しみながら学び、国に対する理解を一層深めていきました。

この講演会を通じて、生徒たちはガイドブックやテレビ・インターネットからでは得られない現地の情報と韓国の方のリアルな声を聞くことができ、さらに深い興味を持つことができたようです。



10月11日 農業と環境～秋の芋ほり～



芋掘りの前に濱橋実習教諭から、芋の種類や本日収穫する安納芋について説明がありました。

安納芋の外観はコロんとした丸い形。生だとオレンジ色で加熱すると濃い黄色となり、通常のサツマイモより甘く、ねっとりとした食感になるとお話がありました。

想像するだけで、食べたくなってきます。

まずは、芋のツルを取り除き、イモを傷つけないように、ゆっくり優しく土を掘りおこしていきました。

昨日の雨で土が重く、足元が泥だらけになりながらも、生徒たちは作業を進めていきました。そして、芋掘りにエンジンがかかり、イモが出てくる度に喜びの声が上がっていました。



10月27日 アルミ缶で炊飯に挑戦～3年2組 スポーツ類型～



3年2組のスポーツ類型の6人が、「アルミ缶でお米を炊く」とてもユニークな授業を行いました。

災害時やアウトドアで道具にたよらず、身近にある物を工夫して調理ができる学びを目的に取り組みました。

森本教諭から、材料と作り方の説明を受けた後、生徒たちは持参したお米と空のアルミ缶、燃料用の牛乳パックを使って調理を開始。



本数に限りのあるマッチを使い切らないように、各々が工夫して牛乳パックに火をつけます。

風で火が消えないように位置をかえたり、紙パック以外に落ち葉や小枝を使ったりと、生徒たちはそれぞれ工夫を凝らしながらお米を炊いていきました。

苦戦しながらも、なんとか時間内に炊きあがった大村君。苦勞した分、美味しく出来上がったようでした。

11月15日 岩美町立みなみ保育所で3年生が保育実習

3年3組の10名が、「子ども文化」の授業の一環として、岩美町立みなみ保育所を訪れ、園児たちと共に楽しいひと時を過ごしました。

10名の生徒は、3～4人のグループに分かれ、保育園の年長、年中、年少のクラスに分かれて実習。園児の年齢ごとに異なる遊びのプランを考え、それらに必要なおもちゃや小道具を手作りで準備して、本日を迎えました。実習で使用するおもちゃは、園児たちの興味を引きつけるように工夫され、イラストや色合いが施されていました。

生徒が考案したプランは、園児たちが元気よく大きな声をだして体を動かす遊びや、ジェスチャーなど表現力を磨く遊びなどがあり、園児たちの反応も大変良好でした。



帰りのバスでは、パワフルな園児たちに圧倒されて「疲れた」と口に出ていましたが、元気いっぱいの園児たちと楽しいひと時を過ごせて、生徒たちの顔は優しさに包まれていました。岩美町立みなみ保育所の園児の皆さん、先生方、本当にありがとうございました。

10月28日 鳥取県立鳥取聾学校の学校祭に参加！



鳥取県立鳥取聾学校の学校祭に手話部1年生の森君と顧問の田中教諭が参加しました。

午前中は、幼稚部から高等部までのステージ発表を楽しみました。どの学年も工夫を凝らしたパフォーマンスを繰り広げ、会場は大いに盛り上がりました午後からは、校内の高等部イベントコーナーや作品展示を見て回りました。他校からのブース出展もあり、岩美高校の手話の取り組みも紹介しました。

生活デザイン科販売コーナーで手作り作品の販売をお手伝いし、森くんが大活躍しました。

顧問の田中教諭は聞こえにくい方の視点を疑似体験できるヘッドホンをつけて校内を回り、「普段の何気ない行動も、聞こえないことで恐怖や困難を感じるのがよくわかった。これからの活動のためにも、この体験は非常に有益だった」と感想を述べました。鳥取聾学校の学校祭の参加は、多様性の理解と共感の場となり、心に残る一日となりました。



11月21日 未来の夢を英語でプレゼン！～3年1組～

3年1組の英語の授業で、生徒たちが「将来の夢」を発表しました。多くの生徒が将来就きたい職業について語り、選んだ理由や情熱を共有し合える素晴らしい授業となりました。夢を語り合うことでお互いに刺激し合っていました。

ALTのジャックさんは、「みなさんのプレゼンはとても素晴らしかった。今後、進学や就職していくと、人の前でプレゼンをする機会があると思います。よりよいプレゼンをするには、自分の周りの人に伝えるよう、相手を見て話しかけるように話すとよい。」とアドバイスをしました。



10月27日

2年3組 岩美北小学校の手話交流



本日の2年3組の手話授業は、岩美北小学校4年生と手話を通じた交流を行いました。

岩美北小学校の生徒たちは、大きな声で「ふるさと」を歌い、生徒たちを温かく迎えてくれました。

生徒たちは4つのグループに分かれ、楽しい手話活動の時間を過ごしました。

最初に、手話を使った自己紹介を行いました。小学生たちは初めて会うお兄さんやお姉さんがする手話の動作に興味津々。



その後、各グループで、「ふるさと」の手話に挑戦。高校生がサポートし、歌詞の1単語ずつを手話で表現できるように練習していきました。

3番までマスターしたところで、みんなで歌を手話を使いながら合唱をし、本日の素晴らしい交流を締めくくりました。



お別れの際、高校生から交流の記念として手作りの折り紙ペンダントをプレゼントしました。

小学生たちは、出口までアーチを作り見送ってくれました。大きな体の高校生が、小さなアーチのトンネルを通る姿は、とても微笑ましい光景でした。

10月31日

地域活動支援センター『ほっこり』の方々との交流会～3年3組手話授業～

本日の3年3組の「手話言語基礎 II」の授業は、地域活動支援センター『ほっこり』の方々との交流会。この日のために、生徒たちは1カ月以上前から、いろんな準備をしてきました。楽しいレクリエーションになるよう、岩美高校の講堂に4つのテーブルを置き、みなさんをお迎えしました。

丁度お昼の時間ということもあり、ほっこりの方々と生徒たちは、食事を介して自由に会話を楽しみ、打ち解けあっていました。



昼食後、始めのレクリエーションは、「新聞紙で作る手提げバックづくり」。3年3組の生徒たちがサポートして1人ずつ可愛らしいバッグを作りました。

製作に必要な手話の表現を授業で事前に練習しており、生徒たちは積極的に手話を使い、難しい表現などは筆談を用いて会話を楽しんでいました。作ったバッグを早速つかっていただくために、用意したお菓子やハンカチなどをプレゼント。

次は、ほっこりの方々が「銭太鼓」を披露してくださいました。みなさんととても力強く、楽しそうに踊られていて、生徒たちも笑顔で拍手をして盛り上がりました。



会の終わりは、伊澤さんと石橋君があいさつをし、「今日はみなさんとバッグを作ったり、歌を歌ったり出来てとてもたのしかったです。また、来てください。」とほっこりの皆さんに伝えました。

